

# 生活設計とリスクへの備え

## 本日の授業内容

1. 生活設計とお金
2. リスクへの備え
3. 公的保障と私的保障
4. まとめ

# 1. 生活設計とお金

～将来について考えてみよう～

## 将来の目標を持っていますか？

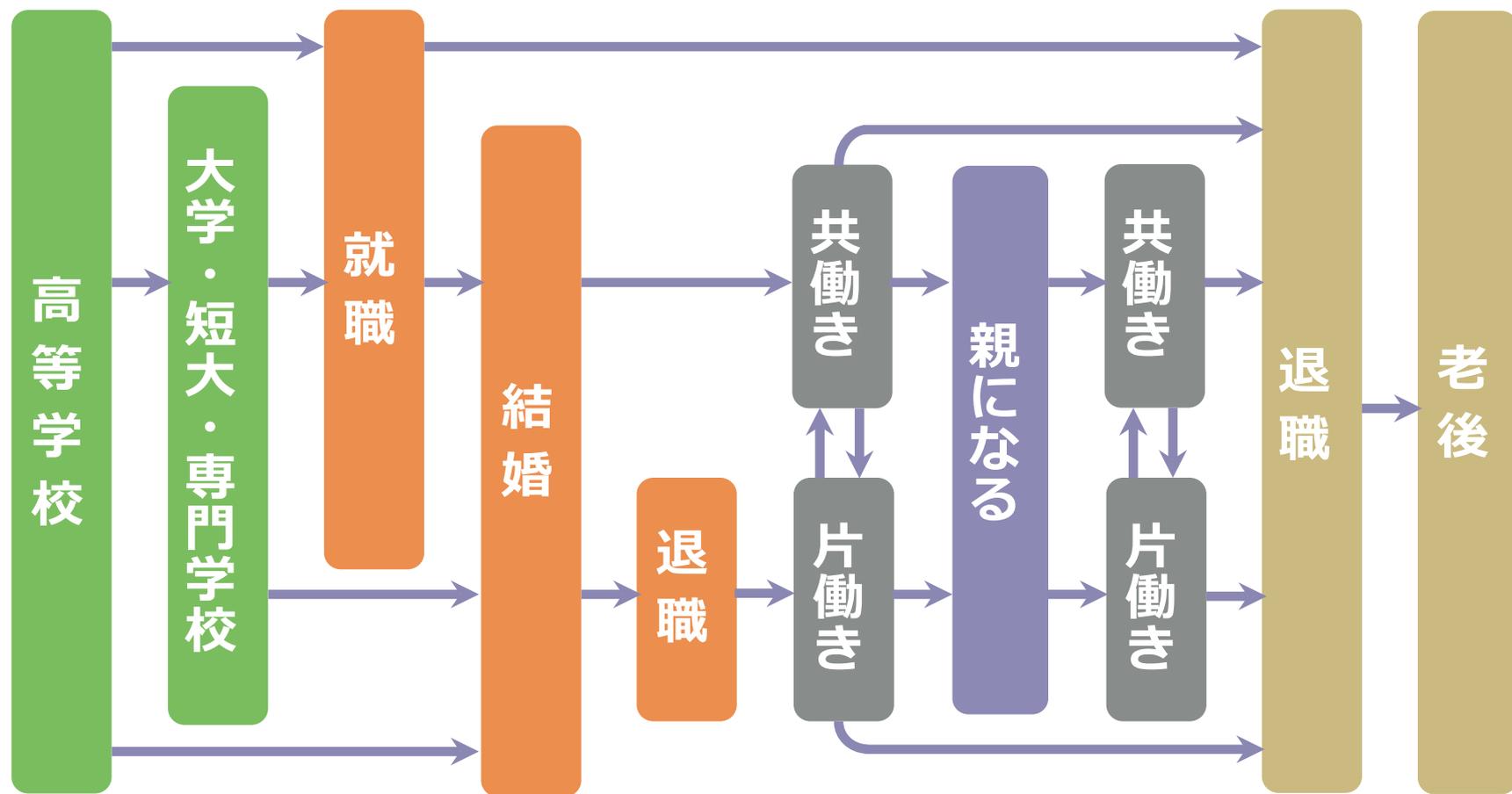
- ・卒業後はどうしたい…？
- ・どんな職業に就きたい…？
- ・結婚したい…？
- ・子どもはほしい…？

生活設計とは、  
自分の将来について**具体的に考えること**



# さまざまなライフコース

## それぞれの生き方を「ライフコース」とよぶ



# さまざまなライフイベント



進学



独立(1人暮らし)



結婚



親になる



住宅購入

# ライフイベントにかかる費用 ①



結婚

【問題1】結婚にかかる費用はどれくらい？

注 結納・婚約～新婚旅行までにかかった総額

A.約370万円 B.約470万円 C.約570万円

【答え】A.約370万円⇒ (平均) 371.3万円

注 親、親族等からの結婚援助費用は考慮せず

\* リクルート「ゼクシィ結婚トレンド調査2022」調べ



住宅購入

【問題2】新築住宅を購入するのに必要な費用はどれくらい？

注 土地付き注文住宅・建売住宅・マンションの全国平均

A.約2,000万円 B.約4,000万円 C.約6,000万円

【答え】B.約4,000万円⇒ (平均) 4,196万円

\* 住宅金融支援機構「フラット35利用者調査」(2021年度)

# ライフイベントにかかる費用 ②



親になる

【問題3】子ども一人にかかる教育費は  
どれくらい？

注1 幼稚園～高校は公立、大学は私立文系の場合 注2 授業料等を費用負担した場合

A.約500万円 B.約750万円 C.約1,000万円

【答え】C.約1,000万円⇒ (平均) 982万円

注 教育費とは別に養育費（食事、衣服費等）が必要

(万円)

(万円)

	公立	私立
幼稚園 (3年間)	65	159
小学校	211	1000
中学校	162	430
高等学校	154	316

	公立	私立
大学 (文系)	243	408
大学 (理系)		551
大学 (医歯系)	350	2,396
短期大学 (2年間)	95	202

\* 文部科学省「子供の学習費調査」(令和3年度)

注 ①2019年10月から3～5歳までの子どもが利用する幼稚園・保育所の利用料は無料。

②2020年4月から公立・私立共に所得要件を満たした世帯を対象に授業料への支援金を給付。

\* 国立・公立は、文部科学省令による標準額

\* 私立大学学費は、文部科学省「私立大学入学者に係る初年度学生納付金平均額調査」(令和3年度)をもとに生命保険文化センターが作成

注 2020年4月から「高等教育の修学支援新制度」の適用により、要件を満たす場合は授業料等の免除または減額。

- ① **生活設計と資金計画は、セットで考える必要がある。**

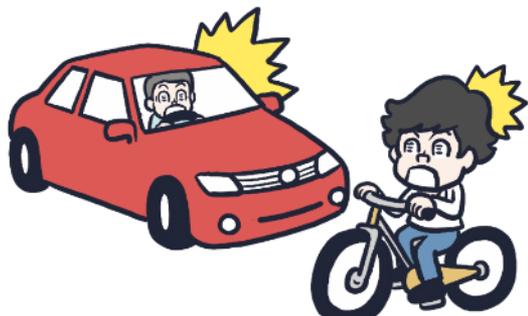
# 2. リスクへの備え

～ 3つの保障を理解しよう～

# リスクとは何か

リスクとは…

起きてほしくないことで、起きるとお金がかかること



交通事故



病気で入院



自転車の盗難



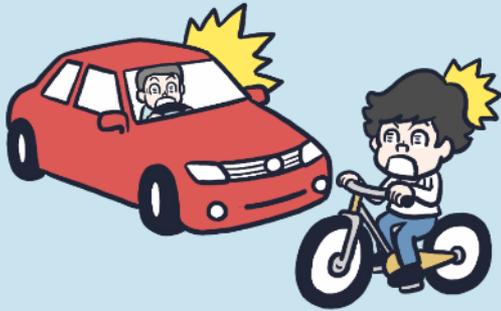
スマホを破損



財布を紛失

# 生活設計に重大な影響を与えるリスク

## 交通事故



A. 交通事故の  
年間発生件数  
305,196件/年

→ 約103秒に1件

\* 警察庁「交通事故発生状況」(令和3年)

## 病気で入院

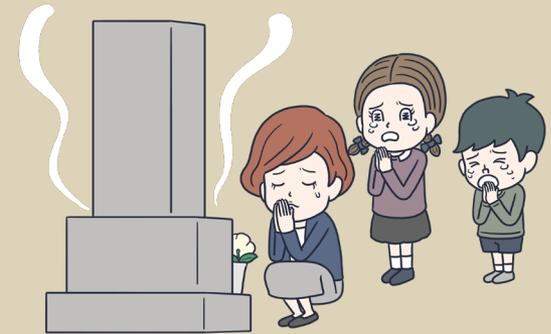


B. 1日平均  
新入院患者数  
41,520人/日

→ 約2秒に1人

\* 厚生労働省「医療施設（動態）調査  
・病院報告」(令和3年)

## 一家の働き手が 亡くなった



C. 65歳までに  
亡くなる人の割合

**男性約10人に1人  
(10.2%)**

**女性約19人に1人  
(5.4%)**

\* 厚生労働省「簡易生命表」(令和3年)

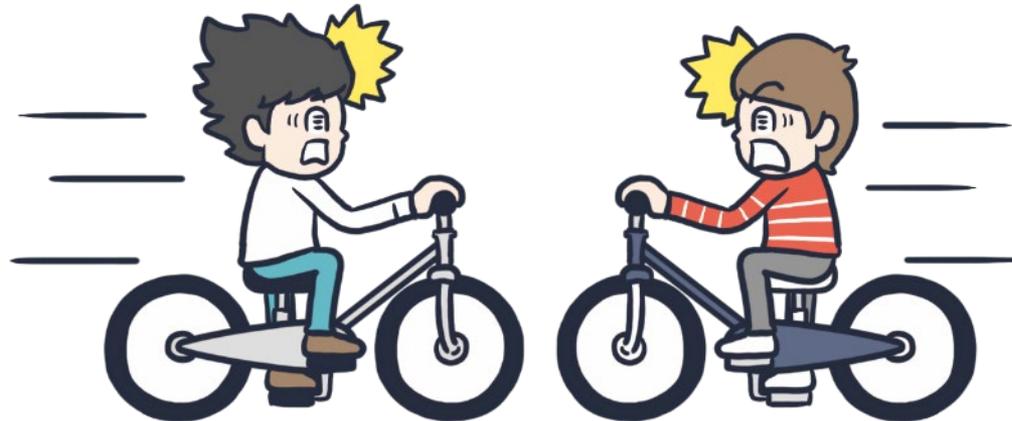
# リスクに直面した高校生の事例

男子高校生が昼間、自転車横断帯のかなり手前の歩道から車道を斜めに横断し、対向車線を自転車で直進してきた男性会社員（24歳）と衝突。男性会社員に重大な障害（言語機能の喪失等）が残った。

（東京地方裁判所、2008年6月5日判決）

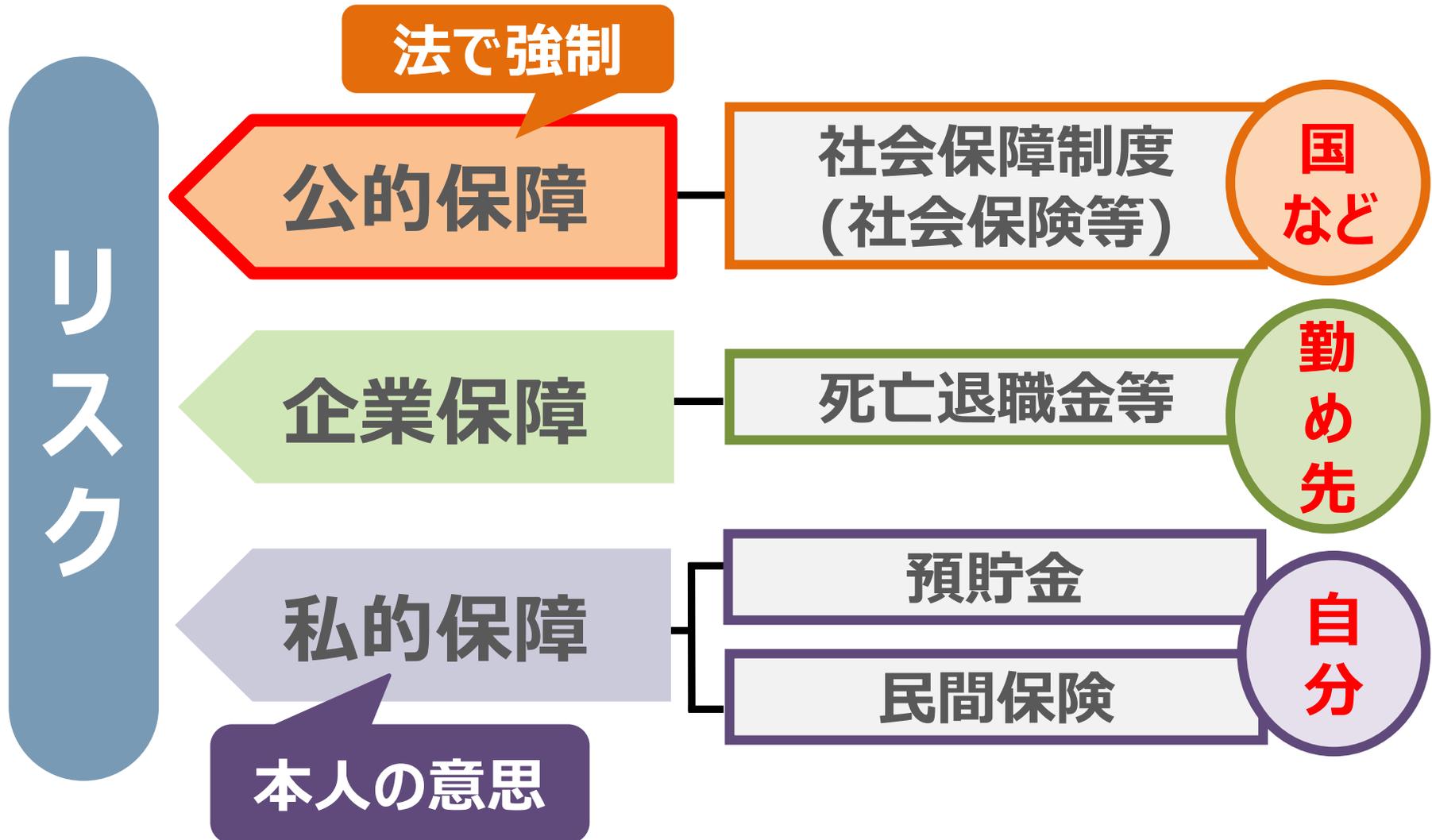
\* 一般社団法人日本損害保険協会「ファクトブック2020」をもとに作成

**賠償額** 被害者の損害に対して、加害者が支払わなければならない金額 → **9,266万円**



# リスクに備える3つの保障

保障：もしものときに生活を守るもの



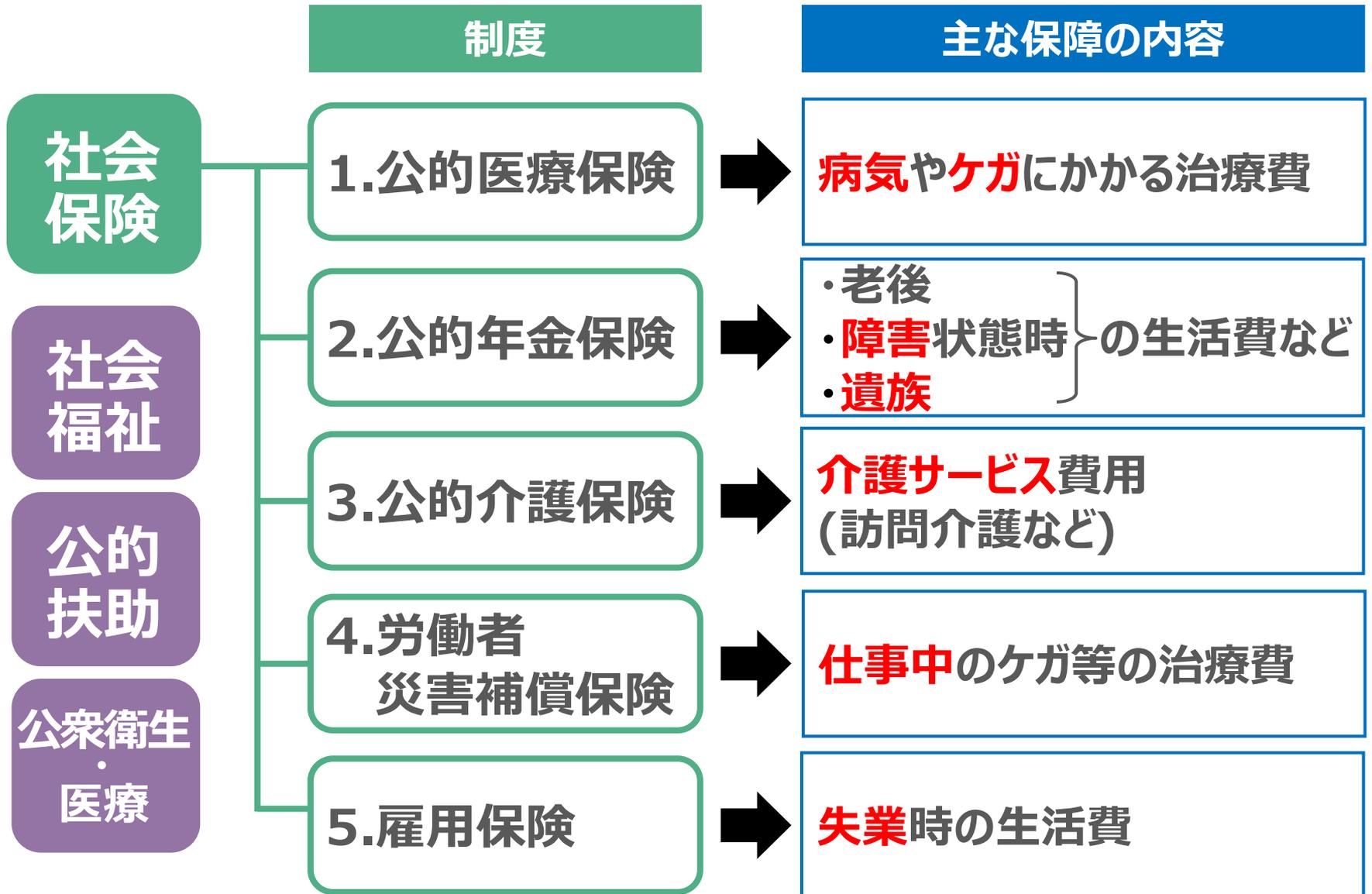
## まとめ②

- ① 生活設計と資金計画は、セットで考える必要がある。
- ② リスクに対して3つの保障手段で備えることができる。
- ③ **公的保障**と**企業保障**で不足する部分を**私的保障**で補う。

# 3. 公的保障と私的保障

～国からのサポートと自分たちで準備するもの～

# 社会保障制度の概要



# 困ったときに受けられる公的保障を考えてみよう

それぞれの状況で、どの社会保険から保障が受けられるか線で結んでみよう

## 状況



定年退職して老後の  
収入が無くなった



会社が倒産し、  
失業した



介護が必要な状態になった



一家の働き手が交  
通事故で亡くなった



病気で入院した



会社員が仕事  
でケガをした

## 制度

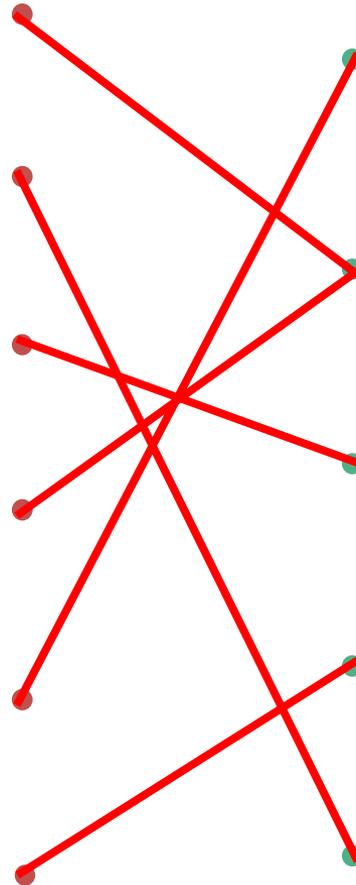
公的医療保険

公的年金保険

公的介護保険

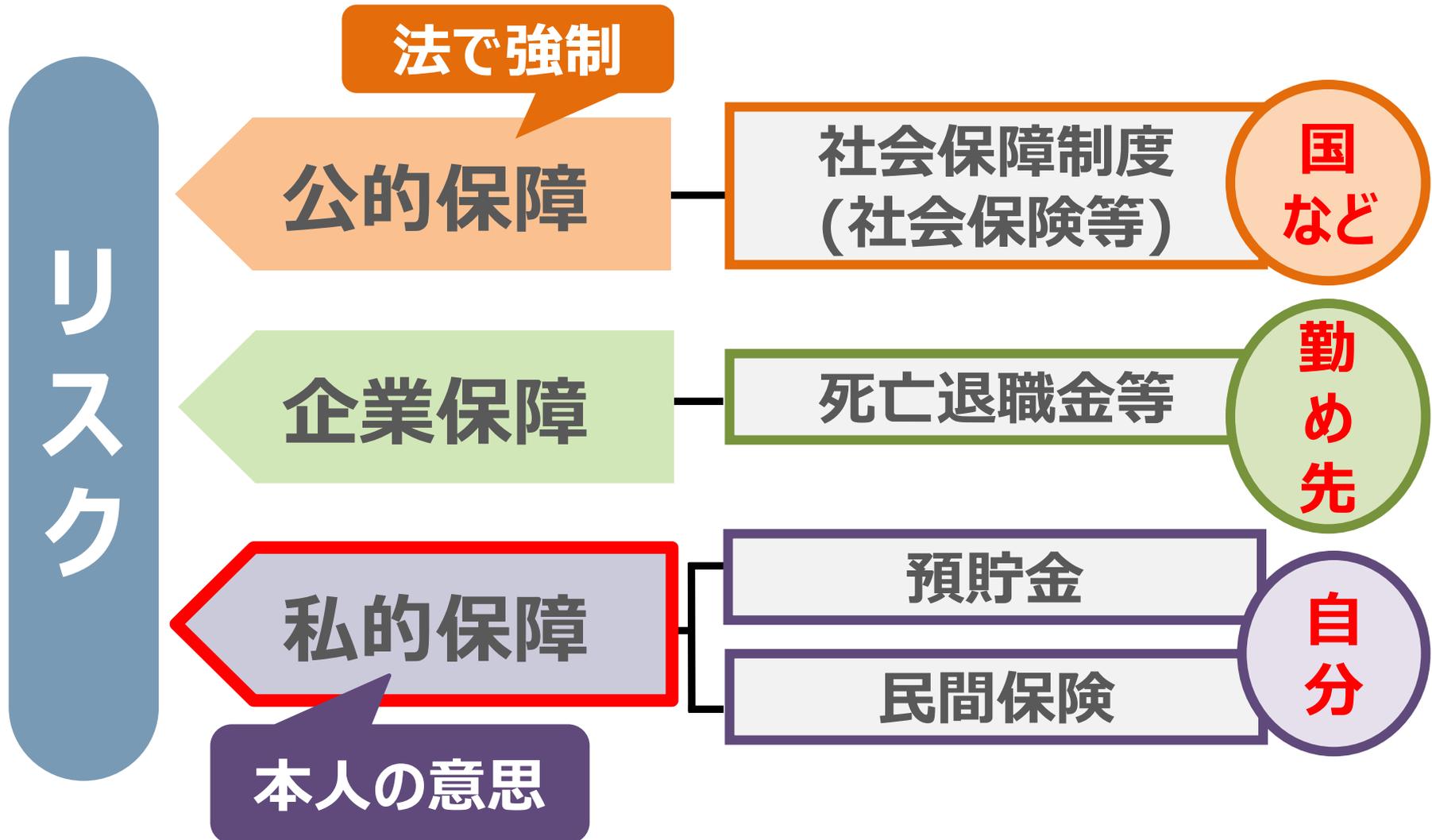
労働者災害補償保険

雇用保険



# リスクに備える3つの保障

保障：もしものときに生活を守るもの

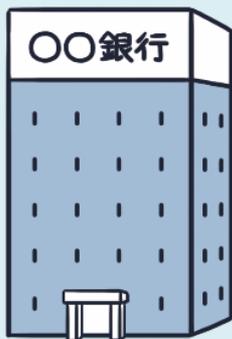


# 預貯金と民間保険①

## 預貯金



お金を預ける

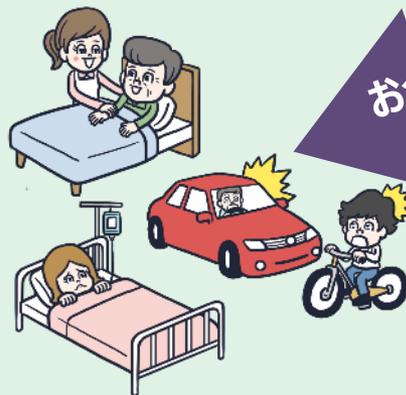


お金を引き出す

## 民間保険



お金(保険料)を支払う

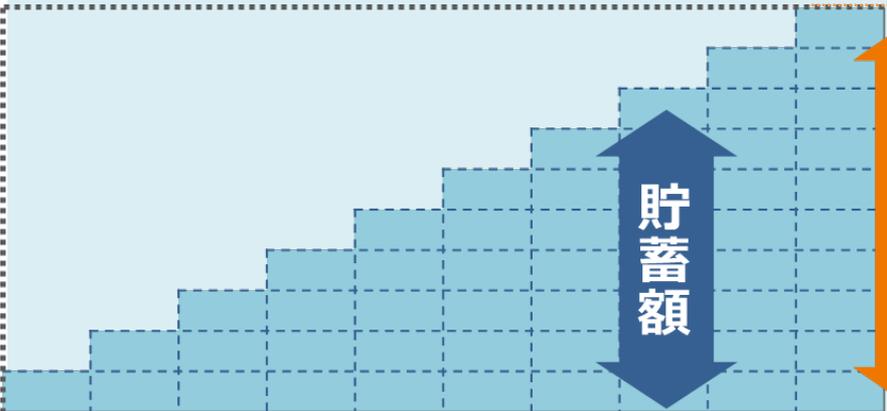


お金(保険金)を受取る

# 預貯金と民間保険②

## 預貯金

目標額

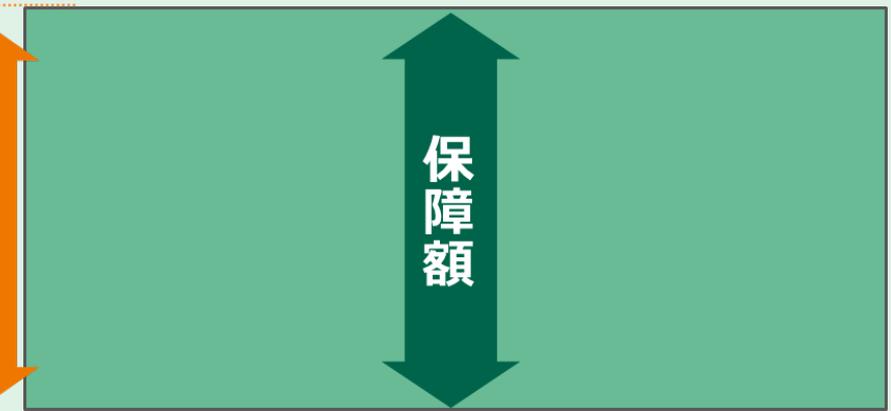


30歳 40歳  
貯蓄額は毎年100万円（総額1,000万円）

特徴

**さまざまな目的の  
ために貯める**

## 民間保険



30歳 40歳  
保険料は毎年約3万円（総額約30万円）

特徴

**特定の損失  
に備える**

注 ①預貯金は利子や税金などを考慮しない金額。②保険料は男性（30歳）契約で、保険期間10年、保険金額1,000万円の定期保険の例。実際の保険料は、保険種類や契約内容、生命保険会社によって異なる場合があります。

# 「預貯金」と「民間保険」の違い③

## 預貯金

## 民間保険

メリット

- 貯めたお金は自由に使うことができる。
- 途中での引き出しや貯めるペースが自由。

- 途中いつでも、病気やケガ等のリスクが発生した場合に、あらかじめ**決められた**金額を受け取ることができる。

デメリット

- 途中で病気やケガ等、リスクが発生した場合に、**必要な**金額が貯まっているとは限らない。

- 決められた金額を保険料として支払う必要がある。(保険の種類によっては一部戻ってくる場合がある)

# 保険のしくみ①

100人の部員がいる  
サッカーチーム



毎年  
5人の部員が  
骨折を  
している



対策をしても  
ケガは減らない...



治療にかかる費用は  
1人10,000円



## 保険のしくみ②

全員で治療にかかる  
費用を準備すれば  
よいのでは？



治療にかかる費用は  
全員分で  
 $10,000\text{円} \times 5\text{人}$   
➡  $50,000\text{円}$



$50,000\text{円} \div 100\text{人}$   
➡ 1人あたり  
年間500円



骨折した生徒は  
 $10,000\text{円}$ を受け取り、  
治療費にあてる

# 保険のしくみ③

ケガに備えるために……

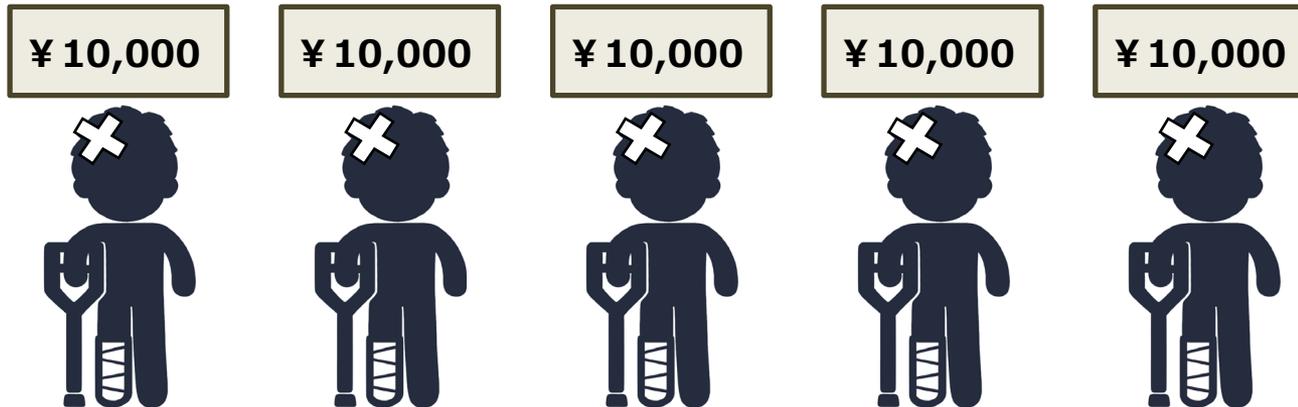
それぞれが  
出し合う費用



×



100人



骨折した5人は10,000円ずつ受け取り、  
治療費を支払える

# 生命保険と損害保険

## 生命保険

対象

人

受取額

あらかじめ約束した  
金額  
(定額給付)

備えられる  
リスク

- 死亡
- 病気・ケガ
- 老後
- 介護



など

## 損害保険

モノ

事故により発生した  
損害額  
じっそんてんば  
(実損填補)

- 交通事故
- 火事
- 台風や地震

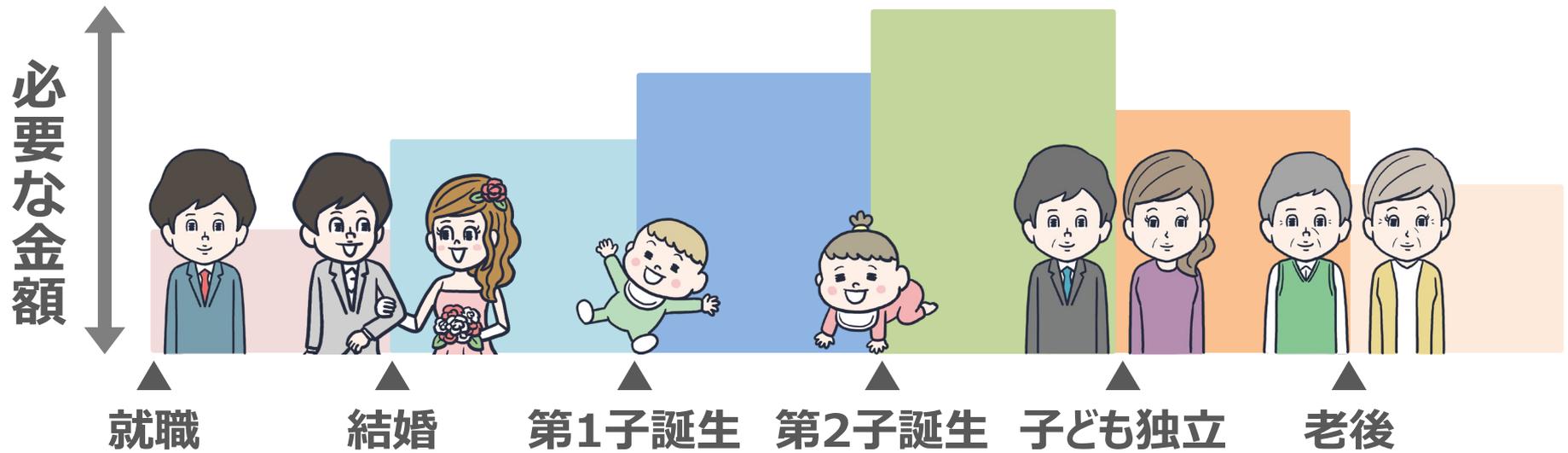


など

# ライフステージによる必要な保障の違い

家族の状況の変化などで、必要な保障の金額が異なります。

・亡くなったときに必要な金額（イメージ）



## <結婚>

残される配偶者のために死亡保障が必要となります。

## <出産>

遺族の生活費や教育費をまかなうために、より大きな保障が必要となります。

## <子どもの独立・老後>

親としての責任は減るため、死亡保障の必要な金額はその分減少します。

# [参考] 生活設計と生命保険

## 目的と保障の内容

## 種類



### 「死亡」の保障

**死亡**すると、遺族の生活費等として  
お金(保険金)を受け取れる

定期保険・養老保険  
終身保険  
など



### 「病気・ケガ」 の保障

**病気**や**ケガ**により入院や手術をすると  
お金(給付金)を受け取れる

医療保険  
など



### 「老後」の保障

あらかじめ決められた年齢になると  
決められた期間お金(年金)を受け取れる

(個人)年金保険  
など



### 「介護」の保障

**介護**状態になると  
お金(給付金)を受け取れる

介護保険  
など

# 【参考】足の骨折で入院したら（入院・手術が伴う骨折の場合）

Aさん（23歳）は、友人とスノーボードをしているときに、足をひねる状態で転倒し、大ケガを負いました。レントゲン検査の結果、ねじったように骨折しており、翌日手術を行いました。そして22日目には無事退院をすることができました。このとき、医療費などはいくらかかったでしょうか。



—

## 必要となるお金

初診料、処置料、入院諸費用などの合計約180万円に加え、家族の交通費やその他雑費で約8万円、全部合わせると約188万円になりました。

医療費等 約180万円

その他 約8万円

合計 約**188**万円

+

## 入ってくるお金

公的医療保険から医療費の7割が支払われ、さらに高額療養費の払い戻しを考慮すると、公的保障として総額約168万円が支払われました。

公的保障 約168万円

合計 約**168**万円

# 【参考】もしも、亡くなってしまったら①

Bさんは今年45歳。妻(42歳)はパート勤務で、長女(10歳)・長男(8歳)がいます。もしBさんが亡くなってしまった場合、遺族の生活費や教育費などこれから必要になるお金はいくらになるのでしょうか。



—

## 必要となるお金

遺族の生活費の合計(48年間) 約9,190万円、子どもの教育費(2人分)約2,220万円に加え、住居費や葬儀費用といったその他の費用約1,650万円を合計すると、約1億3,060円になりました。

生活費	約9,190万円
子どもの教育費	約2,220万円
その他	約1,650万円

合計 約1億3,060万円

+

## 入ってくるお金

公的保障として、遺族年金や妻の老齢年金から合計(48年間)で約6,190万円の支払いが見込まれます。企業保障として、死亡退職金約400万円が支払われました。

公的保障	約6,190万円
企業保障	約400万円
妻の就労収入	約2,340万円

合計 約8,930万円

# 【参考】もしも、亡くなってしまったら②

Cさんは今年32歳。妻(30歳)は正社員で、長女(2歳)・長男(0歳)がいます。もしCさんが亡くなってしまった場合、遺族の生活費や教育費などこれから必要になるお金はいくらになるのでしょうか。



—

## 必要となるお金

遺族の生活費の合計(59年間) 約1億1,660万円、  
子どもの教育費(2人分)約2,550万円に加え、住居  
費や葬儀費用といったその他の費用約5,260万円を  
合計すると、約1億9,470円になりました。

生活費	約1億1,660万円
子どもの教育費	約2,550万円
その他	約5,260万円
合計	約1億9,470万円

+

## 入ってくるお金

公的保障として、遺族年金や妻の老齢年金から  
合計(59年間)で約8,030万円の支払いが見込まれ  
ます。企業保障として、死亡退職金約300万円が  
支払われました。

公的保障	約8,030万円
企業保障	約300万円
妻の就労収入	約7,200万円
妻の退職金	約800万円
合計	約1億6,330万円

\* 生命保険文化センター「遺族保障ガイド」(2021年12月改訂版)をもとに作成

## まとめ ③

- ① 生活設計と資金計画は、セットで考える必要がある。
- ② リスクに対して3つの保障手段で備えることができる。
- ③ 公的保障と企業保障で不足する部分を私的保障で補う。
- ④ 家族構成や年齢などによって必要な保障は異なる。**生活設計**に応じて、リスクへの備えを考えよう。

# 4. まとめ

## まとめ

- ① **生活設計と資金計画**は、セットで考える必要がある。
- ② リスクに対して3つの保障手段で備えることができる。
- ③ **公的保障**と**企業保障**で不足する部分を**私的保障**で補う。
- ④ 家族構成や年齢などによって必要な保障は異なる。**生活設計**に応じて、リスクへの備えを考えよう。